

1 計画の進行管理方法

本計画の推進にあたっては、本市と市民・事業者・市民団体等の多様な主体が、パートナーシップにより取り組みを進めるため、下記の方法で進行管理を行います。

進行状況の把握

3つの環ごとに指標と目標を、また、市内の水の環に関係する状況や市民意識、活動の状況等を把握するため「状況把握項目」を設定します。設定した指標及び状況把握項目、施策の実施状況について、定期的に把握します。

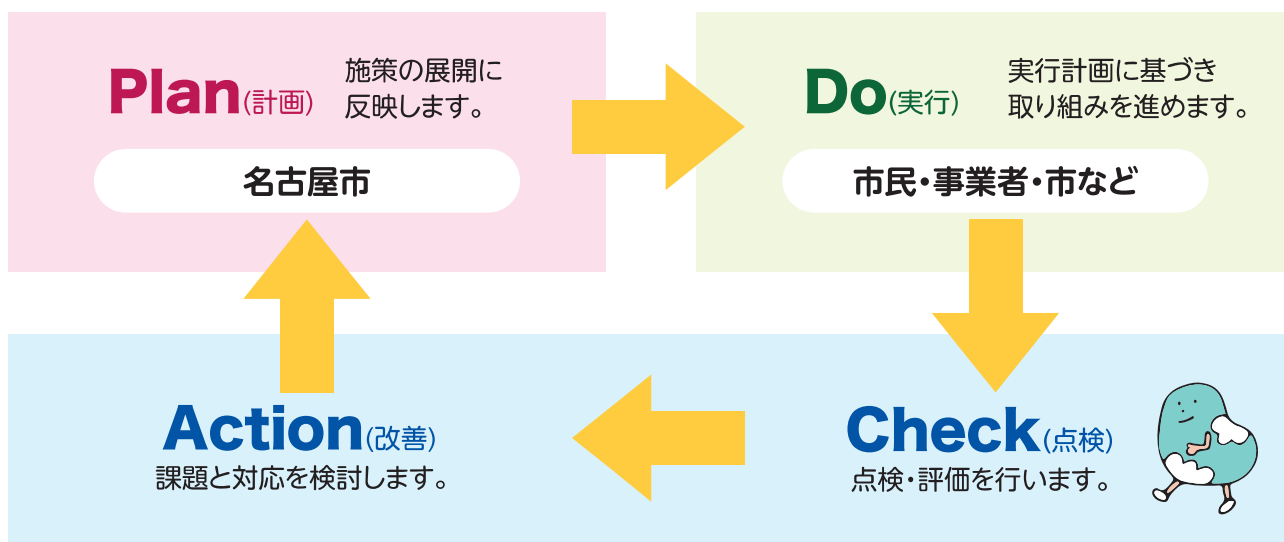
進行状況の共有

把握した進行状況を市公式ウェブサイトに掲載するなどして、市民・事業者等と共有します。

なごや水の環復活推進懇談会での振り返り・今後の展開の検討

庁内の関係部局と外部の有識者等で構成する「なごや水の環復活推進懇談会」を開催し、進行状況の評価や施策の効果的な展開について検討します。

また、市民や事業者へのアンケート調査を行い、結果を施策の展開に活かします。





2 進化管理のための指標と状況把握項目

(1) 進化管理のための指標と目標

3つの環	指 標	現状(2023年度)	目標(2030年度)
環① 水循環機能 の回復	新たに確保された緑の面積(累計)	136ha (2021年度からの3か年)	400ha (2021年度からの10か年)
	市施設における新築・改築等に合わせた 雨水流出抑制施設の設置	実施	継続実施
	水循環を理解し、水循環に配慮した 暮らしをしている市民の割合	9.3%	15%
	市内の雨庭の新規設置数(民間含む)	— (新設)	10か所以上
環② 人にも 生き物にも やさしい 水辺や 緑がある まちづくり	水辺や緑が身近に感じられると思う市民の割合	66.6%	70%
	名古屋の河川の水がきれいだと思う市民の割合	34.7%	40%
	市内における自然共生サイト認定数(累計)	2か所	5か所以上
環③ みんなで 取り組む 人づくり、 場づくり	水循環について理解している市民の割合	45.9%	50%
	水循環に関する講座等の参加者数(累計)	950人	7,000人 (2024年度からの 7か年)
	なごやSDGsグリーンパートナーズ登録認定数(累計)	2,916件	4,300件
	「なごや環境大学」を支える団体数(累計)	526団体	580団体※

※名古屋市総合計画2028での2028年度における目標

(2) 市内の水の環に係る状況や市民意識、活動の状況等を把握するための状況把握項目

3つの環	状況把握項目		現状(2023年度)
環① 水循環機能の回復	水収支	蒸発散	22.5%(2020年度)
		浸透・貯留	15.1%(2020年度)
		直接流出	62.4%(2020年度)
	市施設における雨水貯留浸透の対策量 [*] (単年)		1,956.3m ³
	民間施設における雨水貯留浸透の対策量 [*] (単年)		1,572.8m ³
	自宅で浸透雨水ますを設置している市民の割合		2.6%
	自宅で雨水タンクを設置している市民の割合		4.1%
	自宅で庭や駐車場を舗装しない、または透水性舗装等をしている市民の割合		13.4%
	自宅で緑化に取り組んでいる市民の割合		33.8%
	自宅で打ち水を実施している市民の割合		25.6%
	事業所で浸透雨水ますや雨水タンクを設置している事業者の割合		13.3%
	事業所で庭や駐車場を舗装しない、または透水性舗装等をしている事業者の割合		18.1%
	事業所で緑化に取り組んでいる事業者の割合		46.4%
	事業所で打ち水を実施している事業者の割合		27.7%
	緑被率		21.5%(2020年度)
	生産緑地の面積		194.1ha
	市内の雨庭の数		—
環② 人にも生き物にもやさしい水辺や緑があるまちづくり	緑被率【再掲】		21.5%(2020年度)
	名古屋の「みどり」が多いと思う市民の割合		66.3%(2020年度)
	名古屋の「みどり」に満足している市民の割合		65.9%(2020年度)
	公園や森など身近な自然環境とふれあっている市民の割合		54.5%
	親しみがある公園があると思う市民の割合		69.5%
	市民一人当たりの都市公園の面積		7.1m ²
	河川流量、浅層地下水位の状況		資料編に掲載
	市内河川の水質環境目標値(BOD)の達成状況		70%
	熱帯夜日数		49日
	市内で身近に農にふれあえる機会があると思う市民の割合		26.2%
環③ みんなで取り組む人づくり、場づくり	市民参加型生きものの調査の延べ参加者数(累計)		4,147人
	主な緑のまちづくり活動に携わった市民の延べ人数		37,000人
	環境学習センターの利用者数		30,673人
	なごや環境大学共育講座数		146講座
	「名古屋市民の森づくり」への参加者数(累計)		201人
	市内で身近に農にふれあえる機会があると思う市民の割合【再掲】		26.2%

※雨水をその場で貯留浸透させる施設に限る



3 なごや水の環境復活推進懇談会

(1) なごや水の環境復活推進懇談会名簿（令和6年8月時点）

学識委員及び公募による市民委員（※敬称略、五十音順）

氏 名	所属・役職等	備 考
奥田 隆明	南山大学 経営学部経営学科 教授	
奥谷 順彦	公益社団法人 雨水貯留浸透技術協会 ARSIT 水循環アドバイザー	
大東 憲二	大東地盤環境研究所 所長	座長
高木 和彦	名東自然倶楽部 会長	
服部 宏	堀川1000人調査隊 事務局長	
原田 守博	名城大学 理工学部社会基盤デザイン工学科 教授	
増田 理子	名古屋工業大学 工学部社会工学科 教授	
松尾 直規	中部大学 名誉教授	
森本 幸裕	公益財団法人 京都市都市緑化協会 理事長（京都大学 名誉教授）	

行政委員

所属・役職等
総務局 企画部 担当課長(企画・水に係る施策の調整)
住宅都市局 都市計画部 都市計画課長
住宅都市局 まちづくり企画部 まちづくり企画課長
緑政土木局 担当課長(企画調整)
緑政土木局 河川部 河川計画課長
緑政土木局 農政部 都市農業課長
緑政土木局 緑地部 緑地事業課長
上下水道局 技術本部 計画部 下水道計画課長
上下水道局 技術本部 計画部 水道計画課長
環境局 環境企画部 環境企画課長
環境局 環境企画部 脱炭素社会推進課長
環境局 地域環境対策部 地域環境対策課長
環境局 環境科学調査センター 環境科学室 主任研究員

(2) 検討経緯

日 程		検討内容
2023年3月24日	第15回懇談会	● 今後の課題 ● 実行計画の策定スケジュール
2023年9月5日	第16回懇談会	● 実行計画の概要 ● 実行計画策定の趣旨 ● 実行計画策定の背景とこれまでの振り返り
2023年12月22日	第17回懇談会	● 2030年に向けた方向性 ● 重点施策案 ● 指標、状況把握項目案
2024年3月26日	第18回懇談会	● 素案の提示
2024年8月20日	第19回懇談会	● 案の提示
2025年1月20日 ～2月18日		● 市民意見の募集
2025年3月28日		● 水の環復活なごや戦略実行計画2030 策定